

CNC DATA MODELに基づく NC パートプログラムの XML 表現に関する研究

北海道大学大学院工学研究科 ○佐藤 友紀, 田中 文基, 岸浪 建史

要 旨

NC データの再利用を可能にする為、CNC DATA MODEL と EBNF 及び ISO10303-21 に基づいた NC パートプログラムの記述法が ISO で提案されている。NC データの再利用にはデータアーカイビングが必要だが、提案されている記述法はデータアーカイビングには適していない。従って、分散加工環境においてデータアーカイビングを行う為、CNC DATA MODEL に基づいた NC パートプログラムを XML を用いて記述する方法を提案する。

1. 緒論

現在、NC コードの再利用を可能にするため、ISO で CNC DATA MODEL が検討されている。この NC コードの再利用にはデータアーカイビングが必要であるが、CNC DATA MODEL で規定されている NC パートプログラムの記述法はデータアーカイビングには適していない。従って本研究では分散加工環境においてデータアーカイビングを行うのに適した XML を用いた記述による NC パートプログラムを提案する。

2 CNC DATA MODEL とデータアーカイビング必要性

CNC DATA MODEL に基づいた NC パートプログラムでは、fig.1 に示すようにそのデータ量及びデータ数が膨大であるために作業者が必要箇所を探し出し編集することは非常に困難である。同じ又は類似した形状を加工する際に、過去の NC パートプログラムを編集し再利用できることは、作業時間とコストの無駄を省く為にも非常に重要であり、NC パートプログラムのデータアーカイビングは不可欠である。

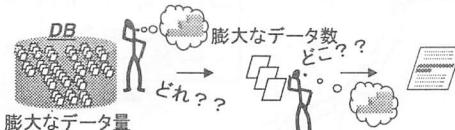


fig.1 NC パートプログラム再利用の際の問題点

3.CNC DATA MODEL に基づくアーカイビングシステムとそのデータの必要条件

CNC DATA MODEL に基づく NC パートプログラムを分散加工環境において再利用する為には、fig.2 に示すようなデータアーカイビングシステムが必要である。膨大な量のデータを対象にして様々な条件によって検索を行うには、データの意味とデータ自身を区別可能な構造を持ち、また編集してあらゆるデータを参照させる為には複数ファイル間参照機能を持つ記述法が必要であり、更にそれらの記述とアプリケーションとの親和性が高いことも重要である。

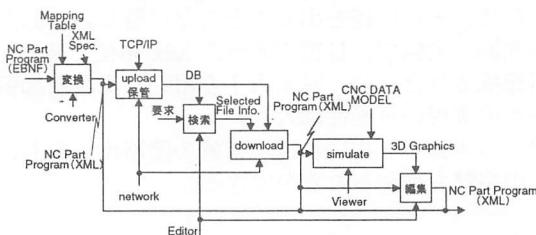


fig.2 CNC DATAMODELに基づくデータアーカイビングシステム

4. CNC DATA MODEL の問題点

4.1 CNC DATA MODEL に基づく NC パートプログラムの構造

CNC DATAMODEL では、CAM から出力される NC パートプログラムのその記述内容は Main Program、Technology Description、Geometry Description の 3 つファイルから構成されている。個々の内容は Table1 に示すようにその役割と記述形式を規定されている。

Main Program では主に部品を加工する為に決定された workingstep の実行順序を記述する。また、この記述中に用いられる workingstep の具体的なデータは Technology Description に記述され、識別子によって参照する。Technology Description では、workingstep、加工フィーチャ、工具の種類等を記述する。また、この記述中に用いられ

る点や面などの幾何情報の具体的な値は Geometry Description で記述され、任意に付けられた番号によって参照する。Geometry Description では、主に Technology Description で用いられる幾何情報の具体的な値を記述する。

Table1 CNC DATAMODEL で提案されている NC パートプログラム

規格	ISO6983	ISO14649-2	ISO14649-11	ISO10303-42
定義	ISO6983	EBNF	EBNF	ISO10303-21
言語	G-code			
		<pre>PROGRAM:PLACEMENT-EXAMPLE FEATURE_PLACEMENT=AXIS2_PLACEMENT_3D PROGRAM:PLACEMENT-EXAMPLE EXECUTOR:EXECUTOR WORKSTATION_W_PLANE END</pre>	<pre>DESCRIPTION REFS[part]= fileRefname="tst2" COMMIT POINTSET = defined packet Natural boundary </pre>	<pre>ISO10303-21 HEADER FILE NAME(STP,...) END SEG DATA #INCLUDE SHAP POINTS(0,0,0) #INCLUDE SHAP POINTS(0,0,0)</pre>
特徴	直接的に加工作業を表現していない	加工作業を直接的に表現している		
	人間に編集不能なデータ量	人間に編集不能なデータ量		

4.2 EBNF と ISO10303-21 形式の問題点

fig.3 に示すように Geometry Description を記述する ISO10303-21 形式では複数ファイル間参照が不可能であり、また属性の型が何であるかを記述しない為編集する際にどのような値に編集すべきかは規格を参照しなければ分らないという問題がある。EBNF による記述はデータの意味とデータ自身を区別し辛い為必ずしもアプリケーションプログラムからアクセスしやすいとは言えない。従って EBNF と ISO10303-21 形式はアプリケーションを利用したデータアーカイビングを行うには機能的に不十分な言語である。

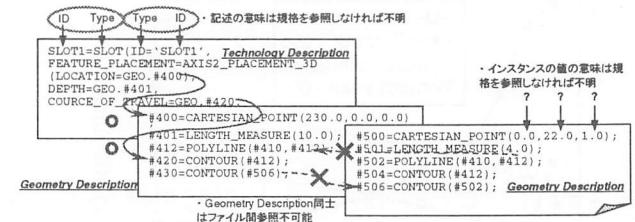


fig.3 EBNF と ISO10303-21 形式の問題点

5.XML による NC パートプログラム

5.1 XML により NC パートプログラムを記述する利点

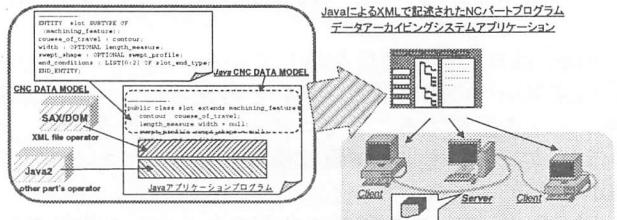


fig.4 XML による CNC DATAMODEL データアーカイビングシステム

本研究ではデータの構造化及びデータの意味表現が可能であり、かつ複数ファイル間参照機能を持つ言語 XML[4]により NC パートプログラムを記述する方法を提案する。更に fig.4 で示すように、提案してきた手法[5]により CNC DATA MODEL は容易にそのモデルの意味を Java で実装可能であり、fig.2 に示すアーカイビングシステムもまた、Sun Microsystems 社が無償で提供する XML ファイル操作の為の API を用いることにより容易に Java による CNC DATA MODEL に書き加えることが可能である。

5.2 EXPRESS で記述された CNC DATAMODEL の XML への変換則
 CNC DATAMODEL は EXPRESS によって記述されている
 為 EXPRESS の要素をどのように XML で記述するかを定める
 DTD (Document Type Definition) を定める必要がある。
 Table2 にその変換則を示した Mapping Table を示す。

5.3 CNC DATAMODEL に基づく NC パートプログラム DTD

CNC DATA MODEL で提案されている NC パートプログラムは、データアーカイブに必要な要素を構造化しているので、提案する NC パートプログラムの DTD も同じ構造に設計する。(Table1 参照)

6. 例題への適用

5 の方法により作成した DTD の一部(fig.7)とそれを用いた XML による NC パートプログラム(fig.8, slot 加工の為の slot 定義の一部)を以下に示す。参考までに同じ内容を記述した EXPRESS (fig.5)、EBNF (fig.6) も示す。人間にとっての記述の可読性は EBNF が高いが、アプリケーションとの親和性や汎用性の面では XML の方が優れている。

```

ENTITY manufacturing_feature ABSTRACT SUPERIPE OF
(twoSD_manufacturing_feature, region);
  id : STRING;
END_ENTITY;
ENTITY twoSD_manufacturing_feature ABSTRACT SUPERIPE
  OF (machining_feature, transition_feature) SUBTYPE OF
(machining_feature);
  manufacturing_data: LIST [1:?] OF twoSD_workingstep;
END_ENTITY;
ENTITY machining_feature ABSTRACT SUPERIPE
  OF (slot, pocket) SUBTYPE OF (machining_feature);
END_ENTITY;
ENTITY slot SUBTYPE OF (machining_feature);
  course_of_travel: contour;
  width : length_measure;
END_ENTITY;
ENTITY workingstep ABSTRACT SUPERIPE OF (milling_workingstep);
END_ENTITY;
ENTITY milling_workingstep ABSTRACT SUPERIPE
  OF (twoSD_workingstep) SUBTYPE OF (workingstep);
END_ENTITY;
ENTITY twoSD_workingstep SUBTYPE OF (milling_workingstep); END_ENTITY;
ENTITY contour;
  segments : LIST [0:?] OF contour_type;
END_ENTITY;
TYPE contour_type = SELECT (polyline, curve, circular_arc);
END_TYPE;

```

fig.5 slot 加工の為の slot 定義部分 (EXPRESS)

```

SLOT1=SLOT (ID='SLOT1', WIDTH=GEO.#401,
  COURSE_OF_TRAVEL=GEO.#430,
  MANUFACTURING_DATA=
    [SLOT1_ROUGH]);

```

fig.6 slot 加工の為の slot 定義部分 (EBNF)

```

<!ELEMENT manufacturing_feature (id, (twoSD_manufacturing_feature|region)) >
<!ATLLIST manufacturing_feature id ID #REQUIRED>
<!ELEMENT id (#PCDATA) >
<!ELEMENT twoSD_manufacturing_feature (machining_feature|transition_feature) >
<!ELEMENT machining_feature (manufacturing_data, (slot|pocket)) >
<!ELEMENT manufacturing_data (ins_ref*) >
<!ATLLIST manufacturing_data type (set|list|bag|array) #REQUIRED
  min CDATA #REQUIRED
  max CDATA #IMPLIED
  basetype CDATA #REQUIRED >

```

Table2 EXPRESS の要素単位の DTD への変換則の応用例

EXPRESS 記述	DTD による 変換結果	DTD を用いた具体例
----- Living FILE ----- ENTITY Animal ABSTRACT SUPERIPE OF (ONE OF (Wild, Pet)); kinds : STRING; END_ENTITY; ENTITY Wild SUBTYPE OF (Animal); place : Area; END_ENTITY; ENTITY Pet SUBTYPE OF (Animal); owners : SET [1:?] OF Person; blood : OPTIONAL BOOLEAN; END_ENTITY; ENTITY Person; name : STRING; END_ENTITY; ----- Area FILE ----- TYPE Area = SELECT (Japan, Foreign); END_TYPE; ENTITY Country; END_ENTITY; ENTITY Land; END_ENTITY;	<!ELEMENT Animal (kinds, (Wild Pet)) > <!ATLLIST Animal kind ID #REQUIRED> <!ELEMENT kinds (#PCDATA) > <!ATLLIST kinds simple CDATA #FIXED "STRING" > <!ELEMENT Wild (place)> <!ATLLIST place (ext_ins_ref) > <!ATLLIST place type CDATA #FIXED "SELECT" > <!ELEMENT place (owners, Blood?) > <!ATLLIST blood (P N A) > <!ATLLIST blood simple CDATA #FIXED "BOOLEAN" > <!ELEMENT owners (ins_ref*) > <!ATLLIST owners type (set list bag array) #REQUIRED min CDATA #REQUIRED max CDATA #IMPLIED basetype CDATA #REQUIRED > <!ELEMENT Person (name)> <!ATLLIST Person id ID #REQUIRED> <!ELEMENT name (#PCDATA) > <!ATLLIST name simple CDATA #FIXED "STRING" > ----- Area FILE ----- <!ELEMENT Area (ins_ref) > <!ATLLIST Area type CDATA #FIXED "SELECT" > <!ELEMENT Japan EMPTY > <!ATLLIST Japan id #REQUIRED > <!ELEMENT Foreign EMPTY > <!ATLLIST Foreign id ID #REQUIRED > <!ELEMENT ins_ref EMPTY> <!ATLLIST ins_ref type CDATA #REQUIRED <!ELEMENT ext_ins_ref EMPTY> <!ATLLIST ext_ins_ref type CDATA #REQUIRED	<Animal id="タマ"> <kinds>ヒラヤン</kinds> <Pet> <owners type="set" min="1"> <ins_ref type="Person" refid="鈴木"/> <blood>true</blood> </Pet> </Animal> <Animal id="オロロン島"> <kinds>鳥類</kinds> <Wild> <place> <ext_ins_ref type="Area" href="C:/demo/WAreaFILE.xml#areal"/> </place> </Wild> <Animal> <Person id="鈴木"> <name>鈴木太郎</name> </Person> ----- AreaFILE.xml ----- <Area> <ins_ref type="Japan" refid="area1"> </ins_ref> </Area>
内部参照 同じファイル内のインスタンス参照		
外部参照 異なるファイルへのインスタンス参照		